

2012年8月6日

2013年3月期第1四半期決算の概要 (2012年4月～6月)

東レ株式会社



目次

I. 2013年3月期第1四半期決算の概要

2013年3月期第1四半期連結損益概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
セグメント別売上高・営業利益	(P8)
セグメント別業績	(P9-16)
営業利益増減要因分析	(P17)
主要子会社収益状況	(P18)

II. 2013年3月期業績見通し

2013年3月期連結業績見通し	(P20)
セグメント別業績見通し	(P21)

I . 2013年3月期第1四半期決算の概要 (2012年4月～6月)

2013年3月期第1四半期連結損益概要

単位：億円

	12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	増減
売上高	3,748	3,641	- 107 (-2.9%)
売上原価	2,948	2,913	- 34 (-1.2%)
売上総利益	801	728	- 73 (-9.1%)
(売上高総利益率)	21.4%	20.0%	-1.4 ポイント
販売費及管理費	528	555	+27 (+5.1%)
(売上高販管費比率)	14.1%	15.2%	+1.2 ポイント
営業利益	273	173	-100 (-36.7%)
(売上高営業利益率)	7.3%	4.7%	-2.5 ポイント
営業外収支	18	18	+0
経常利益	291	191	-100 (-34.3%)
特別損益	▲ 7	▲ 26	-18
税前利益	283	165	-118 (-41.7%)
四半期純利益	178	101	-77 (-43.3%)

為替レート
<円/US\$>

(12/3 1Q) → (13/3 1Q)

期中平均 : 81.7 → 80.2

期末 : 80.7 → 79.3

<円/ユーロ>

(12/3 1Q) → (13/3 1Q)

期中平均 : 117.4 → 102.9

期末 : 116.8 → 98.7

原油価格

<US\$/バレル> (DUBAI FOB)

(12/3 1Q) → (13/3 1Q)

期中平均 : 110.7 → 106.3

(注)3月期決算会社は4~6月の業績、12月期決算会社は1~3月の業績を連結

営業外収支

億円

	12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	増減
営業外収益	45	46	+1
受取利息及び配当金	13	14	+1
持分法による投資利益	18	18	-1
雑収入	13	14	+1
営業外費用	▲ 26	▲ 28	-1
支払利息	▲ 14	▲ 14	-0
雑損失	▲ 13	▲ 13	-1
営業外収支	18	18	+0
金融収支	▲ 1	▲ 0	+0

(注)収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	増減
特別利益	0	1	+1
有形固定資産売却益	0	1	+1
投資有価証券売却益	0	-	-0
特別損失	▲ 8	▲ 27	-19
有形固定資産処分損	▲ 3	▲ 4	-1
災害による損失	▲ 3	▲ 9	-5
投資有価証券評価損	▲ 1	▲ 14	-13
その他	▲ 1	▲ 0	+1
ネット特別損益	▲ 7	▲ 26	-18

(注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

億円

	12年3月末	12年6月末	増減
資産合計	15,815	16,161	+346
流動資産	7,262	7,491	+229
有形固定資産	5,619	5,811	+192
無形固定資産	426	425	-1
投資その他	2,507	2,433	-74

	12年3月末	12年6月末	増減
負債合計	9,074	9,281	+208
流動負債	5,158	5,375	+216
固定負債	3,915	3,906	-9
純資産合計	6,741	6,880	+139
有利子負債残高	4,819	5,157	+338
D/Eレシオ	0.77	0.81	+0.04

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	増減	特記事項
設備投資額	93	186	+93	東レ:42、連結子会社:143
減価償却費 ー)	160	151	-10	東レ:66、連結子会社:85
振替・除却等	113	157	+44	
有形固定資産増減	46	192	+146	
研究開発費	122	130	+8	

主な設備投資:

TAK (Toray Advanced Materials Korea Inc.) : 炭素繊維設備

TAFK(Toray Advanced Film Kaohsiung Co., Ltd.): 自己粘着性表面保護フィルム設備

セグメント別売上高・営業利益

単位: 億円

	売上高			営業利益		
	12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	増減	12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	増減
繊維	1,423	1,358	-65 (-4.6%)	102	87	-14 (-13.9%)
プラスチック・ケミカル	1,030	972	-58 (-5.6%)	86	55	-32 (-36.5%)
情報通信材料・機器	643	580	-62 (-9.7%)	95	42	-53 (-56.1%)
炭素繊維複合材料	190	184	-6 (-3.2%)	27	22	-5 (-19.0%)
環境・エンジニアリング	301	385	+83 (+27.6%)	▲ 14	▲ 1	+13 (-)
ライセンス	131	131	+0 (+0.1%)	19	16	-3 (-17.9%)
その他	31	31	+0 (+0.5%)	1	2	+1 (+98.2%)
計	3,748	3,641	-107 (-2.9%)	317	223	-94 (-29.6%)
調整額				▲ 44	▲ 50	-6
連結	3,748	3,641	-107 (-2.9%)	273	173	-100 (-36.7%)

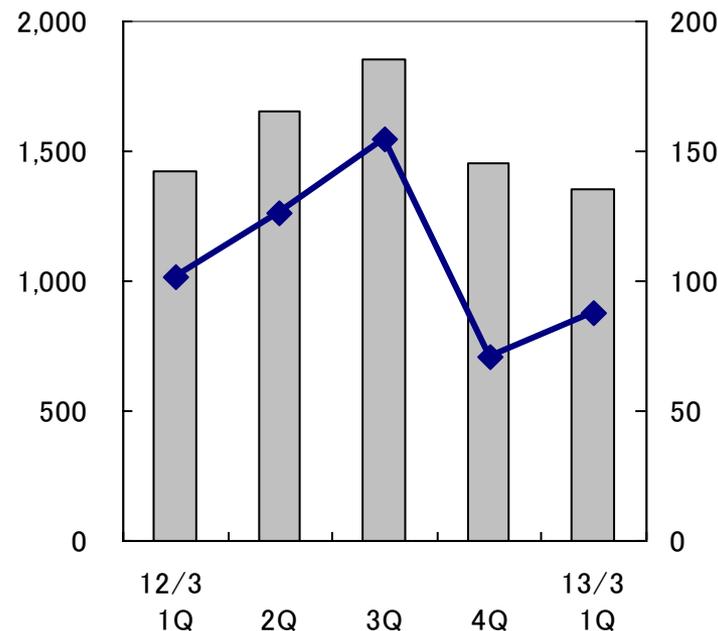
セグメント別業績(繊維)

単位: 億円

		12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	262	258	-4	(-1.5%)
	国内	668	633	-35	(-5.3%)
	海外	493	467	-26	(-5.3%)
	計	1,423	1,358	-65	(-4.6%)
営業利益	東レ	34	40	+6	(+16.9%)
	国内	18	20	+2	(+10.1%)
	海外	61	30	-31	(-50.9%)
	修正	▲ 12	▲ 2	+9	
	計	102	87	-14	(-13.9%)

売上高
<棒グラフ>

営業利益
<線グラフ>
(億円)



国内:

産業用途は、自動車メーカーの生産拡大に伴って自動車関連用途向けの販売が伸長するなど全般的に堅調に推移。衣料用途は、春先の天候不順の影響などもあり需要は弱含みで推移。

海外:

欧米景気減速の影響を受けてアジア地域の需要が低調に推移したことに加え、前年度第4四半期に引き続きタイの洪水の影響を生産・販売面で受けた。

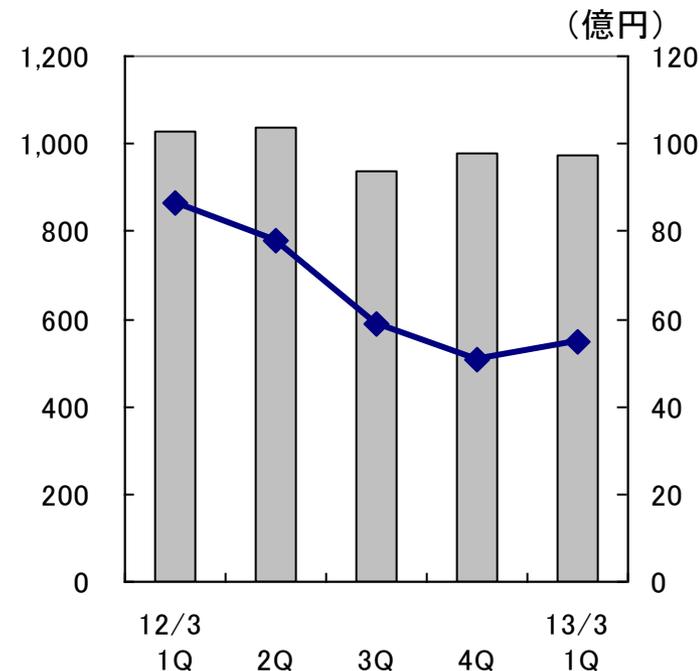
セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

単位: 億円

		12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	184	185	+2	(+0.9%)
	国内	374	343	-31	(-8.3%)
	海外	472	444	-28	(-5.9%)
	計	1,030	972	-58	(-5.6%)
営業利益	東レ	11	9	-2	(-20.1%)
	国内	30	18	-11	(-38.1%)
	海外	47	25	-22	(-46.7%)
	修正	▲ 1	3	+4	
	計	86	55	-32	(-36.5%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞



樹脂:

樹脂事業は、国内を中心に自動車メーカーの生産拡大に伴ってエンジニアリング・プラスチックの自動車関連用途への販売量が伸長。海外では、汎用ABS樹脂は、昨年から継続したサプライチェーンの在庫調整が最大需要地である中国を中心に底を打ったものの、経済の先行き不透明感から荷動きは引き続き低調に推移。

フィルム:

フィルム事業は、世界的な景気低迷などの影響により国内外で需要が低調に推移するとともに価格競争激化が継続。フィルム加工子会社は、前年同期にあった東日本大震災後の需要増の反動から調整局面となった。

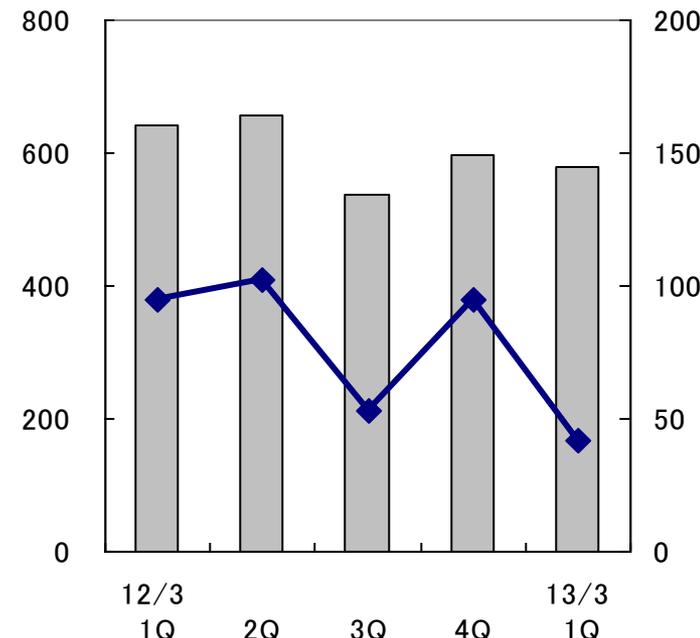
セグメント別業績(情報通信材料・機器)

単位: 億円

		12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	275	206	-70	(-25.3%)
	国内	188	205	+18	(+9.3%)
	海外	179	169	-10	(-5.8%)
	計	643	580	-62	(-9.7%)
営業利益	東レ	60	28	-33	(-54.3%)
	国内	12	14	+2	(+19.4%)
	海外	22	14	-9	(-38.9%)
	修正	0	▲ 14	-14	
	計	95	42	-53	(-56.1%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



薄型テレビ市場の低迷による液晶パネルの生産調整は終了し緩やかな回復基調となったが、フィルム及びフィルム加工品をはじめ薄型テレビ関連製品は前年同期の水準までの回復には至らず、また最終製品の価格低下の影響もあり価格競争が激化。中・小型ディスプレイ関連部材は、スマートフォン関連材料など一部を除き総じて低調に推移。

情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高比率】

単位：億円

	1 2 / 3 期 第 1 四半期		1 3 / 3 期 第 1 四半期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	256	40%	198	34%	-23%
電子部品・半導体・回路材料	224	35%	229	39%	+2%
記録材料	81	13%	82	14%	+1%
機器他	81	13%	71	12%	-12%
情報通信材料・機器セグメント合計	643		580		-10%

ディスプレイ材料：フィルム及びフィルム加工品をはじめ液晶及びPDPテレビ関連製品が低調に推移。

電子部品・半導体・回路材料：電子部品用フィルム、フィルム加工品や回路材料は、薄型テレビやパソコンの需要弱含みの影響を受けたものの、東レバッテリーセパレータフィルムの連結子会社化もあり増収。

記録材料：磁気材料及び熱転写リボン用フィルムが堅調に推移。

機器他：液晶カラーフィルター製造装置の出荷が増加したが、その他機器等が低調に推移。

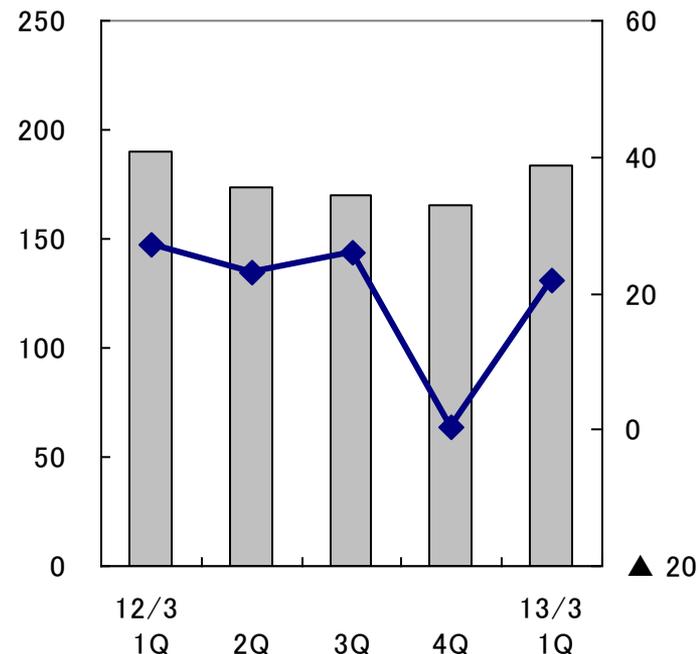
セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

単位: 億円

		12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	140	150	+11	(+7.6%)
	国内	109	107	-2	(-1.8%)
	海外	143	138	-6	(-3.9%)
	修正	▲ 202	▲ 211	-9	
	計	190	184	-6	(-3.2%)
営業利益	東レ	14	14	+0	(+2.4%)
	国内	1	1	+0	(+17.1%)
	海外	11	13	+2	(+18.9%)
	修正	1	▲ 7	-8	
	計	27	22	-5	(-19.0%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



航空機需要の拡大、圧縮天然ガスタンクなど環境・エネルギー関連需要の拡大が進む中で、航空宇宙用途、一般産業用途への拡販を推進。スポーツ用途については、前年度下期以降、国内外で景気低迷の影響を受けて需要が低迷しており、徐々に回復の兆しが見られているものの、価格競争が激化。

本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高比率】

単位：億円

	12 / 3期 第1四半期		13 / 3期 第1四半期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	70	37%	77	42%	+11%
スポーツ	40	21%	30	16%	-26%
一般産業	80	42%	77	42%	-4%
炭素繊維計	190		184		-3%

航空宇宙：既存機向け出荷が好調に推移。ボーイング787向け出荷も計画通り推移。

スポーツ用途：2011年10月以降低調だった需要は、2012年1～3月期を底に徐々に回復しているが、欧米景気の先行き懸念から需要回復の足取りは鈍い。

一般産業用途：圧縮天然ガスタンク用途等を中心に出荷が堅調に推移。

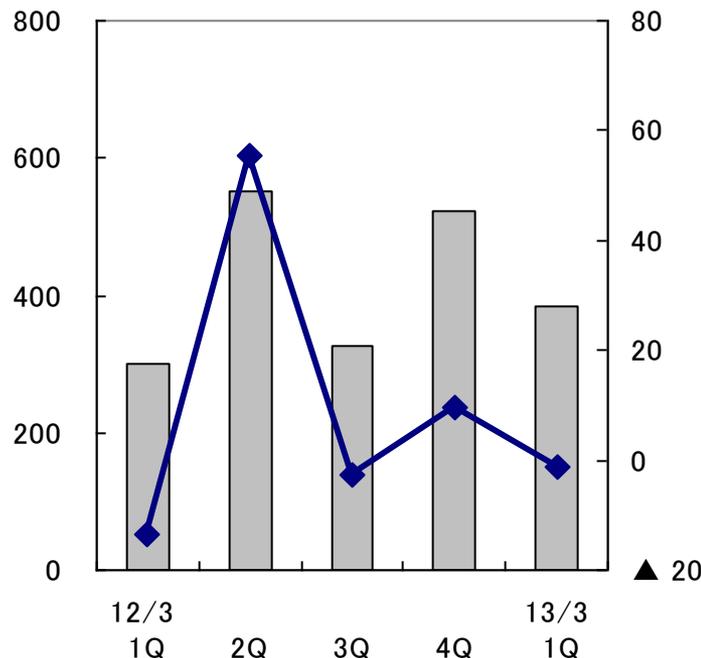
セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

単位: 億円

		12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	15	16	+1	(+10.3%)
	国内	275	360	+85	(+31.1%)
	海外	12	9	-4	(-29.2%)
	計	301	385	+83	(+27.6%)
営業損益	東レ	▲ 7	▲ 8	-0	(-)
	国内	▲ 5	6	+10	(-)
	海外	▲ 1	▲ 1	+0	(-)
	修正	▲ 0	2	+3	
	計	▲ 14	▲ 1	+13	(-)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



東レ:

水処理膜事業は、主要な市場である欧米、中東、中国などの需要は低調に推移したが、逆浸透膜をはじめ各種水処理膜の受注活動を世界各地で推進。

国内子会社:

建設・不動産子会社、エンジニアリング子会社が前年同期に比べて販売が好調に推移。

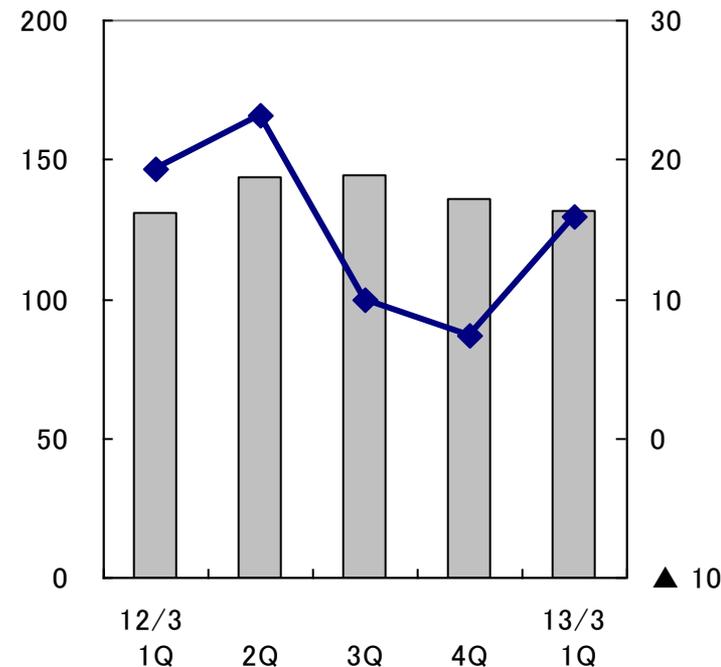
セグメント別業績(ライフサイエンス)

単位: 億円

		12年3月期 第1四半期	13年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	43	38	-5	(-10.8%)
	国内	85	92	+7	(+7.7%)
	海外	4	2	-2	(-46.6%)
	計	131	131	+0	(+0.1%)
営業利益	東レ	17	17	-0	(-2.8%)
	国内	1	2	+0	(+14.0%)
	海外	0	▲ 0	-0	(-)
	修正	1	▲ 2	-3	
	計	19	16	-3	(-17.9%)

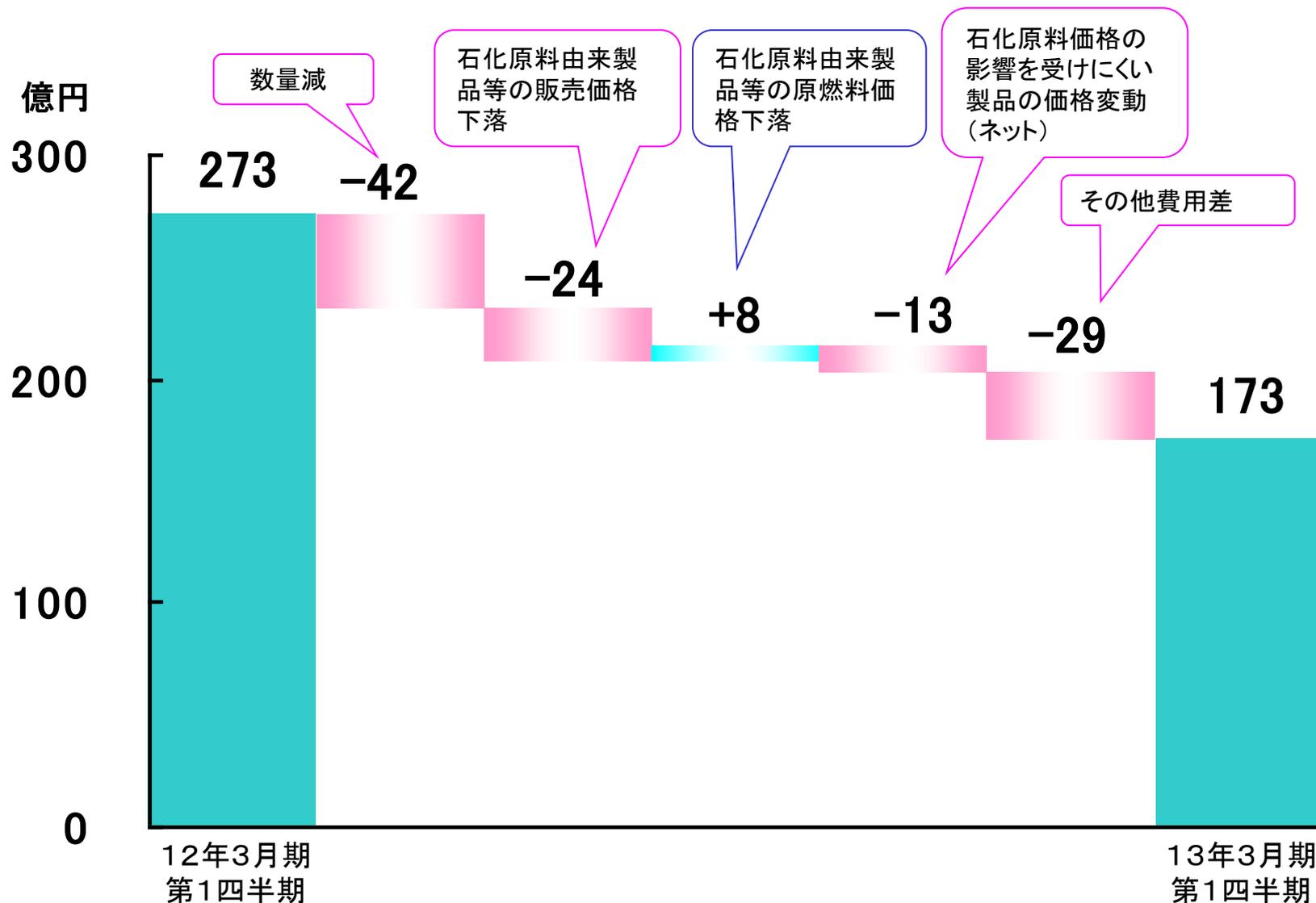
売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



医療材については、昨年販売を開始した新規ポリスルホン膜人工腎臓トレライト® NVを始め順調に販売が拡大。医薬品については、本年4月の薬価改定による販売価格低下の影響もあった。

営業利益増減要因分析



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社収益状況

億円

	売上高			営業利益		
	12年3月期 1Q実績	13年3月期 1Q実績	増減	12年3月期 1Q実績	13年3月期 1Q実績	増減
東レインターナショナル	1,113	1,049	-64	17	20	+3
東レエンジニアリング	152	215	+63	4	1	-3
東レ建設	45	91	+46	▲5	2	+7
東レフィルム加工	131	119	-12	11	5	-6
東レ・メディカル	86	93	+7	1	2	+0
TAK(韓国)	235	231	-4	37	27	-10
TPM(マレーシア)	171	148	-24	6	4	-3
在東南アジア・子会社 *1						
繊維	264	215	-49	26	▲7	-34
プラスチック・ケミカル	211	175	-36	16	9	-7
その他	15	19	+5	1	1	-0
計	490	409	-81	43	3	-40
在中国・子会社 *2						
繊維	259	235	-24	17	20	+3
プラスチック・ケミカル	135	127	-8	3	1	-2
その他	23	25	+2	0	▲2	-2
計	417	387	-30	20	19	-1
在外・フィルム子会社 *3						
プラスチック・ケミカル	222	200	-22	35	18	-17
情報通信材料・機器	121	115	-7	20	15	-5
計	343	315	-28	55	33	-22

*1: ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、TPJ、PFR、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM 単純合計

*2: TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TICH、THK-G、TPCH-G、RKH/RKZ、TFH/TFZ、TBMC、TMQ、TFCC 単純合計

*3: TAK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK 単純合計

Ⅱ. 2013年3月期業績見通し

2013年3月期連結業績見通し

億円

		12年3月期 実績	13年3月期 見通し	対前年同期比 増減	
売上高	上期	7,998	7,900	-98	(-1.2%)
	下期	7,888	9,400	+1,512	(+19.2%)
	通期	15,886	17,300	+1,414	(+8.9%)
営業利益	上期	634	400	-234	(-36.9%)
	下期	443	750	+307	(+69.3%)
	通期	1,077	1,150	+73	(+6.8%)
経常利益	上期	655	390	-265	(-40.5%)
	下期	443	750	+307	(+69.1%)
	通期	1,098	1,140	+42	(+3.8%)
当期純利益	上期	401	210	-191	(-47.6%)
	下期	241	450	+209	(+86.5%)
	通期	642	660	+18	(+2.8%)

備考：為替レート的前提は、79円/US\$（7月以降）、原油価格的前提は、105US\$/B(DUBAI FOB)（7月以降）

セグメント別業績見通し (売上高/営業利益)

億円

		12年3月期 実績			13年3月期 見通し			対前年同期比 増減		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	繊維	3,075	3,309	6,384	3,100	3,700	6,800	+25	+391	+416
	プラスチック・ケミカル	2,065	1,914	3,978	2,100	2,200	4,300	+35	+286	+322
	情報通信材料・機器	1,300	1,134	2,434	1,200	1,500	2,700	-100	+366	+266
	炭素繊維複合材料	363	336	699	400	500	900	+37	+164	+201
	環境・エンジニアリング	853	850	1,702	750	1,100	1,850	-103	+250	+148
	ライフサイエンス	275	280	556	280	320	600	+5	+40	+44
	その他	67	66	133	70	80	150	+3	+14	+17
	連結	7,998	7,888	15,886	7,900	9,400	17,300	-98	+1,512	+1,414
営業利益	繊維	227	226	453	190	300	490	-37	+74	+37
	プラスチック・ケミカル	164	110	274	120	150	270	-44	+40	-4
	情報通信材料・機器	197	148	345	100	210	310	-97	+62	-35
	炭素繊維複合材料	50	26	77	50	70	120	-0	+44	+43
	環境・エンジニアリング	42	7	49	0	60	60	-42	+53	+11
	ライフサイエンス	42	17	60	25	45	70	-17	+28	+10
	その他	5	9	13	10	10	20	+5	+1	+7
	調整額	▲ 94	▲ 99	▲ 194	▲ 95	▲ 95	▲ 190	-1	+4	+4
連結	634	443	1,077	400	750	1,150	-234	+307	+73	

本資料中の2013年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。